

U.S. Indicators

マクロ経済指標レポート

米国 大幅に低下したフィラデルフィア連銀製造業景況指数(05年1月) 発表日: 05年1月20日(木)

~ 今後も緩やかな鈍化傾向持続 ~

(No. UI - 154)

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001、4518 : seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

フィラデルフィア連銀製造業景況指数

| | 総合 | 新規受注 | 出荷 | 在庫 | 雇用 | 出荷遅延 | 受注残 | 販売価格 | 仕入れ価格 |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 04/01 | 35.5 | 31.6 | 29.1 | 1.8 | 15.9 | 1.4 | 9.9 | 10.3 | 36.9 |
| 04/02 | 30.1 | 25.9 | 21.0 | 2.0 | 12.5 | 7.1 | 6.7 | 18.7 | 43.0 |
| 04/03 | 27.5 | 24.8 | 25.0 | 11.0 | 12.5 | 17.2 | 9.4 | 18.9 | 49.6 |
| 04/04 | 32.8 | 26.5 | 28.6 | 9.2 | 13.5 | 0.9 | 1.0 | 14.6 | 51.3 |
| 04/05 | 27.9 | 22.6 | 24.2 | 8.4 | 20.4 | 9.3 | 13.5 | 27.2 | 56.4 |
| 04/06 | 30.0 | 26.8 | 29.0 | 15.0 | 18.2 | 5.5 | 10.3 | 27.7 | 50.8 |
| 04/07 | 35.5 | 34.2 | 39.7 | 3.2 | 22.9 | 14.8 | 17.2 | 33.8 | 50.2 |
| 04/08 | 29.2 | 23.2 | 32.8 | 1.8 | 20.0 | 5.8 | 3.9 | 33.6 | 54.3 |
| 04/09 | 15.9 | 26.8 | 25.4 | 2.7 | 22.9 | 2.9 | 2.8 | 34.6 | 56.7 |
| 04/10 | 27.2 | 23.5 | 26.5 | 2.4 | 15.0 | 0.3 | 2.2 | 33.2 | 57.2 |
| 04/11 | 19.7 | 20.8 | 21.4 | 4.2 | 15.4 | 2.9 | 1.8 | 30.3 | 55.4 |
| 04/12 | 25.4 | 20.9 | 25.6 | 4.5 | 14.0 | 1.1 | 3.0 | 21.1 | 53.8 |
| 05/01 | 13.2 | 9.8 | 15.9 | 2.7 | 17.0 | 3.2 | 5.2 | 24.7 | 66.1 |

(出所)フィラデルフィア連銀

13.2 と前月から12.2 ポイントの大幅低下

1月のフィラデルフィア連銀製造業景況指数(フィラデルフィア連銀管轄地区の製造業)は、受注、出荷の低下によって+13.2と市場予想の+25.0を大幅に下回り同地区製造業部門の拡大ペース鈍化が示された。原材料関連での堅調が持続しているものの、半年後の景況感を示す指数、半年後の受注指数、半年後の出荷指数が低下していることから、今後も基本的には緩やかに鈍化傾向を辿ろう。

個別にみると、在庫のマイナス幅が縮小した一方、新規受注や受注残のプラス幅が大きく縮小したことから、目先生産の鈍化が見込まれる。企業の収益性といった面では、販売価格が小幅上昇したが、仕入れ価格が大幅に上昇したため、交易条件は前月から一段と悪化した。このようなコスト削減圧力が強い状況にもかかわらず、雇用指数は+17.0と前月から上昇しており、同地区製造業の雇用環境は大幅に改善しているとみられる。

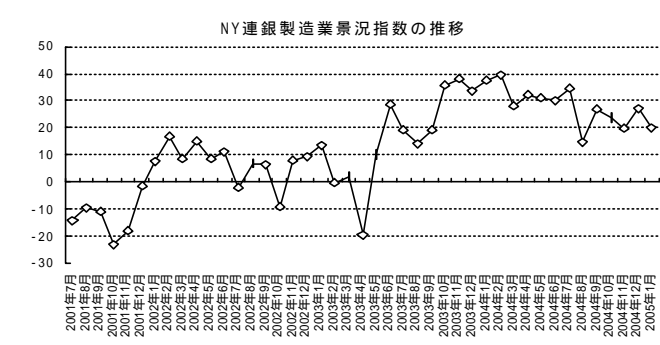
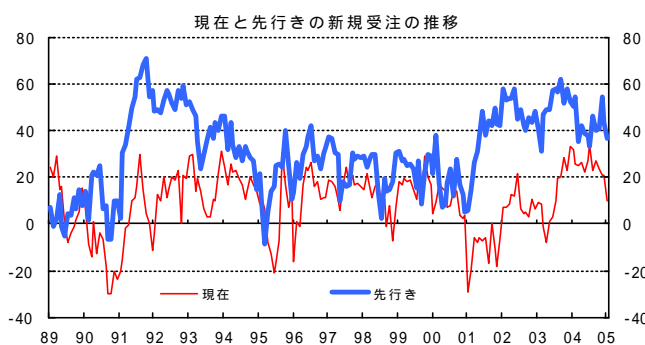
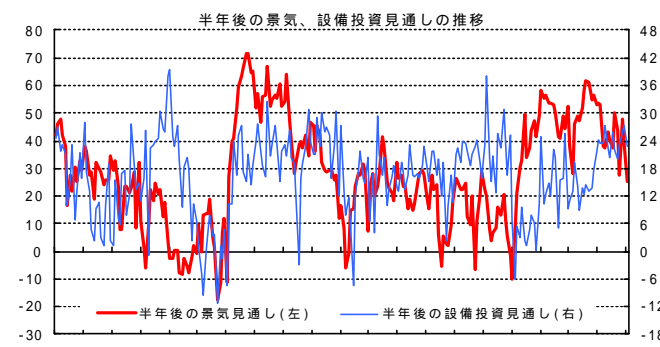
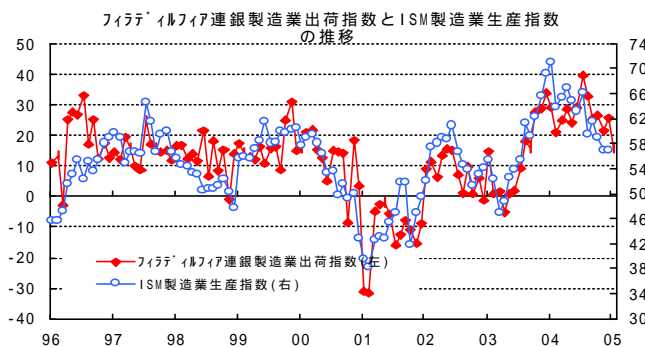
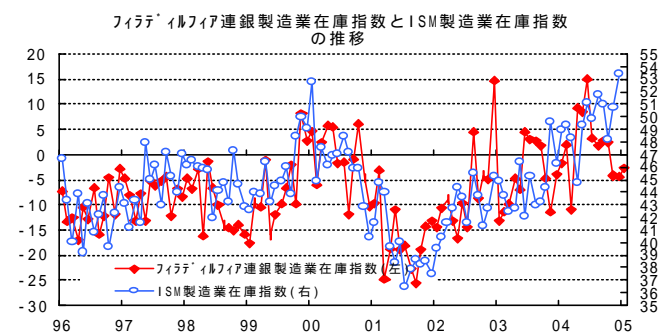
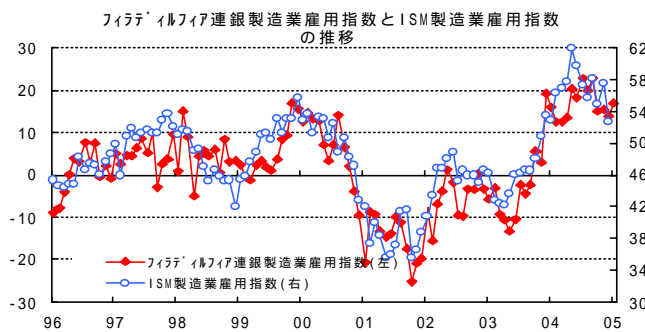
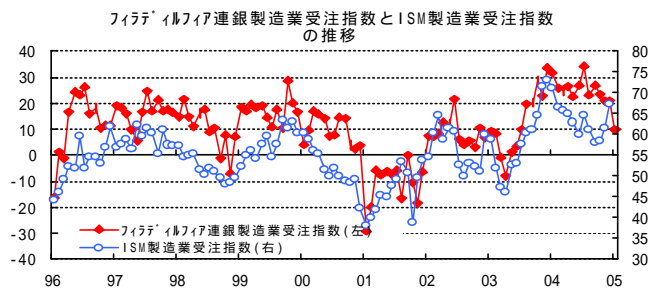
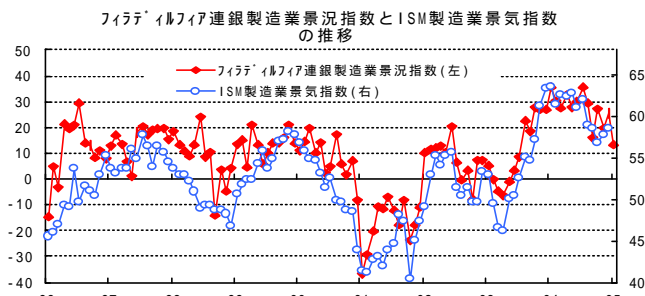
2005年の設備投資 拡大ペースは2004 年から鈍化

先行きに関する調査では、半年後の景況感を示す指数が25.5と12月の39.0から低下していることから、楽観的な見方がやや後退している。半年後の交易条件といったコスト環境は、仕入れ価格の低下を見込んでいるなか、販売価格は小幅低下を予想しており、収益性の小幅改善を見込んでいる。このような見通しのもと、半年後の雇用は25.9と12月の23.3から小幅上昇した。さらに、労働時間の増加も見込んでいることから、雇用・所得環境の拡大傾向持続が示唆されている。在庫については、マイナス幅が一段と拡大しており在庫を抑制する姿勢を維持すると見込まれる。一方、設備投資に関しては半年後の設備投資見通しが22.9と12月の27.4から低下したもののプラス幅が大きいいため、同地区での設備投資が2005年初も堅調に推移することを示唆している。

今回、通常の調査に加えて2005年の設備投資に関する調査が実施された。設備投資を拡大すると答えた割合から削減すると答えた割合を引いたD Iは、2005年に28.1とプラスを維持するものの2004年の45.5から低下しており、2005年の設備投資拡大ペースは2004年から鈍化することを示唆している。

ISM 製造業景気指数 は前月から小幅低下 が見込まれる

この指数は、ペンシルベニア州東部、デラウェア州、ニュージャージー州南部の製造業の景況感を表す指標であるが、全国の製造業の景況感を示すISM製造業景気指数と似た動きをすることが多い。1月にNY連銀製造業景況指数(エンパイア・ステート景況指数)、フィラデルフィア連銀製造業景況指数がともに前月から低下したことから、1月のISM製造業景気指数が12月の58.6から56.5前後に低下すると見込まれる。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命いしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。